

石巻市
県営ほ場整備事業大川地区で農地の排水を開始



大川地区現場にて東部地方振興事務所担当者（左から2番目）から説明を受ける村井知事（左）
=8月3日 石巻市



東部地方振興事務所担当者からの地元関係者への
工事内容説明



運転を開始した長面排水機場のポンプを
視察する村井知事（右から2番目）

8月3日(金)、東日本大震災により全区域において農地が水没するなどの大きな被害を受けた県営ほ場整備事業大川地区の長面工区において、本格的な排水の開始、及び農地復旧状況の確認と地元関係者の意見交換等を目的とした村井嘉浩宮城県知事の現地視察が行われました。

これらは、震災による津波と堤防決壊により224ヘクタールの農地が被災し、未だ大部分の農地が水没している大川地区の長面工区で、平成24年6月11日の堤防の仮締切完了後に整備していた同工区の長面排水機場のポンプ復旧が完了し、8月3日からのポンプ運転に併せて行われたものです。

今後の復旧の進め方としては、現在仮締切の西側の排水を続けており、平成24年10月中旬から同区域のガレキ撤去等、平成25年10月下旬から農地復旧工事を実施し、順次営農を再開する予定です。



位置図